

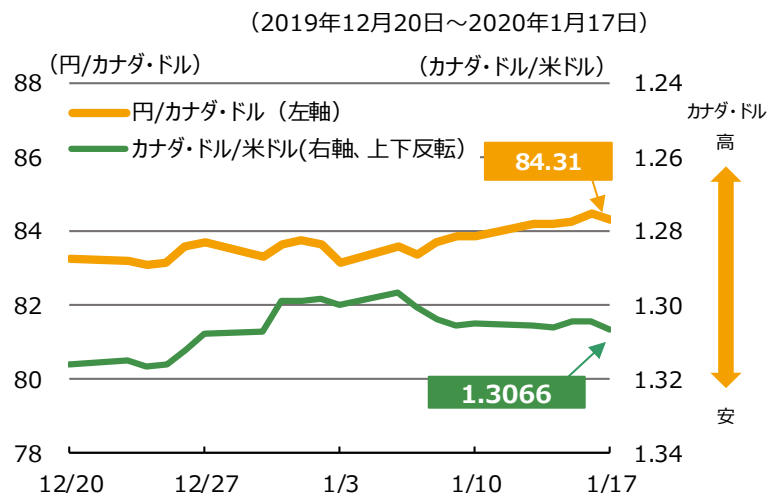
2020年1月21日

先週の回顧

カナダ・ドルは、対円で上昇しました。また、カナダ5年国債利回りは横ばいになりました。

カナダの金利は、先週は重要な経済指標の発表が無かったため、米国の金利の動きにつられる形で方向感無く推移しました。カナダ・ドルは、米中通商協議の第一段階の合意に署名がなされたことや米国上院議会でUSMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）実施法案が可決されたことなどにより、対円で上昇圧力が強まりました。

カナダ・ドル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

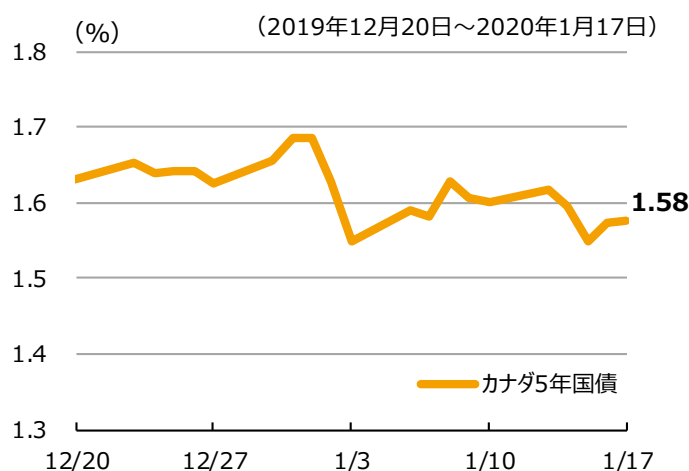
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

今週の見通し

今週、カナダ銀行（中央銀行）の金融政策決定会合が予定されており、市場では政策金利の据え置きが見込まれています。直近、軟調な経済指標が散見されているため、声明文において今後の政策金利の方向性についてどのような言及がなされるかに注目が集まります。また、経済指標では、CPI（消費者物価指数）や小売売上高などの発表が予定されています。小売売上高は前回、前月比マイナスとなったものの、今回は前月比プラスに転じることが見込まれています。

足元では、株価が米中通商協議の進展などを背景に堅調に推移しており、カナダの通貨・金利を下支えすることが見込まれます。

カナダ 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。